



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月10日

上場会社名 本州化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4115 URL <http://www.honshuchemical.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 景一 (TEL) 03 (3272) 1482
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 和智 達也 配当支払開始予定日 -
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	4,446	31.9	826	—	926	—	662	—
22年3月期第1四半期	3,371	△35.3	△96	—	21	△97.4	△30	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	57	65	—	—
22年3月期第1四半期	△2	66	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	21,090	12,239	53.0	972	96			
22年3月期	20,018	12,017	54.1	943	02			

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 11,172百万円 22年3月期 10,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	0	00	—	10	00
23年3月期	—					
23年3月期(予想)		6	00	—	10	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	7,820	19.9	390	—	530	—	120	—	10	45
通期	16,500	10.0	850	56.6	1,050	2.0	360	△26.1	31	35

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	11,500,000株	22年3月期	11,500,000株
23年3月期1Q	16,444株	22年3月期	16,444株
23年3月期1Q	11,483,556株	22年3月期1Q	11,484,502株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における経済情勢は、中国をはじめとしたアジア新興国の経済発展に伴う需要増加や国内外の経済対策の効果等を背景に、輸出や生産の持ち直しが続き国内景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループにおいては、中国向けのデジタル家電等の輸出増加や国内外の景気回復によるIT関連製品・自動車の生産増加に伴う関連製品の需要回復を背景として、総じて堅調な販売を続けることができました。しかしながら、一方では、原料価格が緩やかながらも上昇し、また主力製品の一部については競合メーカーとの競争がさらに激化するなど、引き続き楽観を許さない状況となりました。

このような状況のなかで、当社グループは、さらなる収益の改善と向上を図るため、コア製品を中心とした既存製品の拡販や新規製品の開発促進・販路開拓に努めるとともに、工場コスト競争力の向上や諸経費削減の徹底強化に注力してまいりました。

その結果、売上高は4,446百万円（前年同四半期比31.9%増）となり、営業利益は826百万円（前年同四半期は営業損失96百万円）、経常利益は926百万円（前年同四半期に比べ905百万円の増益）、四半期純利益は662百万円（前年同四半期は四半期純損失30百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

※当社は、激変する事業環境に対応した競争基盤の強化に向けて、事業部門の機能を強化すべく組織改正を行い（平成22年4月1日付）所管事業の変更を行いました。これに伴い、当期より主なセグメントとして化学品、機能材料、工業材料の3セグメントに変更しております（従来は単一セグメントとして部門別の売上高を開示。）。

<化学品>

・トリメチルフェノール

クレゾール誘導品の主力製品であるトリメチルフェノールは、家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンEの原料として、主に中国及び欧州向けに輸出されております。

当第1四半期においては、需要の増大により販売数量が増加したため、売上高は前年同四半期に比べ大幅に増加しました。

・その他クレゾール誘導品

当第1四半期においては、精製BHTなど酸化防止剤用途向け製品の販売が、堅調な需要を背景に好調に推移したため、売上高は前年同四半期に比べ大幅に増加しました。

・ビフェノール

ビフェノールは、パソコン・携帯電話等のIT関連機器やデジタル家電の電子部品に用いられる耐熱性・精密成形性に優れた液晶ポリマー（LCP）の原料として使用されております。

当第1四半期においては、IT関連機器やデジタル家電の順調な需要伸長を背景に販売が好調に推移し販売数量が増加したため、売上高は前年同四半期に比べ大幅に増加しました。

・ビスフェノールF

ビスフェノールFは、主に難燃積層板や土木・建設材料用途に使用されております。

当第1四半期においては、特に電子部品を中心とした販売が堅調であったため、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。

この結果、化学品セグメントの当第1四半期における売上高は2,222百万円、セグメント利益は574百万円となりました。

<機能材料>

- ・ フォトレジスト材料

フォトレジスト材料は、半導体およびLCD（液晶ディスプレイ）の製造過程で使用されています。

当第1四半期においては、IT関連機器やデジタル家電の需要伸長を背景に、半導体用及びLCD用のいずれも好調な販売となり販売数量が増加したため、売上高は前年同四半期に比べ大幅に増加しました。

- ・ 特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノールは耐熱性、光学特性に優れた特殊ポリカーボネート樹脂や特殊エポキシ樹脂の原料として使用されています。

当第1四半期においては、自動車部品や光学・電子部品用途の需要回復により、特殊ポリカーボネート樹脂及び特殊エポキシ樹脂向けの販売が好調に推移したため、売上高は前年同四半期に比べ大幅に増加しました。

この結果、機能材料セグメントの当第1四半期における売上高は、1,272百万円、セグメント利益は429百万円となりました。

<工業材料>

- ・ 特殊ビスフェノール（ハイビス社製品）

ハイビス社の製品であり自動車部品向けの特殊ポリカーボネート樹脂の原料に使用される特殊ビスフェノールは、当第1四半期においては需要の増大により販売数量が増加しました。

- ・ 受託品

当第1四半期における受託品の販売数量は、一部を除くほとんどの製品について増加しました。

この結果、工業材料セグメントの当第1四半期における売上高は、927百万円、セグメント利益は180百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,072百万円増加し、21,090百万円となりました。

流動資産合計は、現金及び預金の増加（1,042百万円）、商品及び製品の増加（610百万円）等により、前連結会計年度末に比べて1,683百万円増加し、12,079百万円となりました。

固定資産合計は、機械装置及び運搬具の減少（592百万円）等により、前連結会計年度末に比べて611百万円減少し、9,011百万円となりました。

負債合計は、買掛金の増加（1,158百万円）、短期借入金の減少（537百万円）等により、前連結会計年度末に比べて850百万円増加し、8,851百万円となりました。

この結果、自己資本比率は53.0%となり、前連結会計年度末に比べて1.1ポイント低下しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月14日に公表しました業績見通しの数字については、現時点では変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

なお、この変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,839	2,797
売掛金	4,003	3,950
商品及び製品	3,097	2,487
仕掛品	367	362
原材料及び貯蔵品	480	487
その他	291	310
流動資産合計	12,079	10,395
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	5,812	6,404
その他（純額）	2,181	2,182
有形固定資産合計	7,993	8,586
無形固定資産	162	179
投資その他の資産		
その他	859	861
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	855	856
固定資産合計	9,011	9,622
資産合計	21,090	20,018
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,831	1,673
短期借入金	2,000	2,537
未払法人税等	283	120
役員賞与引当金	5	20
その他	958	924
流動負債合計	6,078	5,276
固定負債		
長期借入金	1,400	1,400
退職給付引当金	1,246	1,227
役員退職慰労引当金	73	66
その他	52	29
固定負債合計	2,773	2,724
負債合計	8,851	8,000

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500	1,500
資本剰余金	1,013	1,013
利益剰余金	8,878	8,330
自己株式	△10	△10
株主資本合計	11,381	10,834
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△24	△20
為替換算調整勘定	△183	15
評価・換算差額等合計	△208	△4
少数株主持分	1,066	1,188
純資産合計	12,239	12,017
負債純資産合計	21,090	20,018

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	3,371	4,446
売上原価	3,049	3,231
売上総利益	322	1,214
販売費及び一般管理費	418	387
営業利益又は営業損失(△)	△96	826
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	22
受取補償金	138	117
助成金収入	43	—
その他	1	15
営業外収益合計	185	155
営業外費用		
支払利息	26	15
生産休止費用	34	32
その他	5	7
営業外費用合計	67	54
経常利益	21	926
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	16
特別損失合計	—	16
税金等調整前四半期純利益	21	910
法人税等	2	208
少数株主損益調整前四半期純利益	—	702
少数株主利益	49	40
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△30	662

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

当社及び連結子会社はファインケミカルの専門メーカーとして、同一のセグメントに属する製品の製造・販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため記載しておりません。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,903	468	3,371	—	3,371
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	9	—	9	(9)	—
計	2,912	468	3,380	(9)	3,371
営業利益又は営業損失(△)	△257	160	△96	0	△96

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域は次のとおりであります。

欧州・・・・・・・・ドイツ

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	欧州	北米	アジア	計
I 海外売上高(百万円)	706	1	172	879
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	3,371
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	20.9	0.0	5.1	26.1

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 欧州・・・・・・・・ドイツ、スイス他

(2) 北米・・・・・・・・米国

(3) アジア・・・・・・・・中国、台湾他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本店に製品別の事業部を置き、各事業部は所管する製品について、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部を基礎とした製品別のセグメントで構成されており、「化学品」、「機能材料」及び「工業材料」の3つを報告セグメントとしております。

「化学品」は、トリメチルフェノール、その他クレゾール誘導品、ビスフェノール、ビスフェノールF、購入品等を生産・販売しております。「機能材料」は、フォトレジスト材料、特殊ビスフェノール等を生産・販売しております。「工業材料」は、ハイビス社での特殊ビスフェノール、受託品等を生産・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
 当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,222	1,272	916	4,411	34	4,446	—	4,446
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	11	11	—	11	△11	—
計	2,222	1,272	927	4,422	34	4,457	△11	4,446
セグメント利益	574	429	180	1,184	12	1,197	△370	826

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額△370百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△370百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

※セグメントの変更について

当社は、これまでファインケミカル製品の製造・販売のみの単一セグメントとして開示しておりましたが、激変する事業環境に対応した競争基盤の強化に向けて、事業部門の機能を強化すべく組織改正を行い（平成22年4月1日付）所管事業の変更を行いました。これに伴い、当期よりセグメントを化学品、機能材料、工業材料の3セグメントに変更しております。

<参考：開示区分の対比>

（旧部門ベース）

	主要製品	2010年度第1四半期 売上高
高機能化学品	フォトレジスト材料 トリメチルフェノール クレゾール誘導品	1,162
高機能樹脂原料	ビスフェノール 特殊ビスフェノール (ビスフェノールF・ ハイビス社含む)	2,656
その他化成品	受託品 購入品 販売用役等	627
合計		4,446

（新セグメントベース）

	主要製品	2010年度第1四半期 売上高
化学品	トリメチルフェノール その他クレゾール誘導品 ビスフェノール ビスフェノールF 購入品	2,222
機能材料	フォトレジスト材料 特殊ビスフェノール	1,272
工業材料	ハイビス社の特殊ビスフェノール 受託品	916
その他	販売用役等	34
合計		4,446

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。